

～ 自信と誇りを持って行動できる生徒の育成 ～  
学び考える生徒 思いやりのある生徒 進んで心身を鍛える生徒



# 滑中だより

令和7年1月28日発行 第11号 文責 校長 山崎 則枝

## 24の「肌色」クレヨン

### Find your True Colors

24の異なる肌の色のクレヨンセットがアメリカで売られています。メーカーは、あらゆる人種の子どもたちに自分を描くのに適した色をあたえるとともに、子どもたちが多様性を学べるようにしたいと思っています。

肌の色は世界に40以上あるとされますが、以前は、日本ではうすだいたい色、アメリカではピーチ色を「肌色」とするのが一般的でした。新しいクレヨンのセットは、肌の色についてのこうした先入観をなくし、多様な人種が共に暮らす社会への理解を深めてもらうのがねらいです。昨年夏の販売以降、アメリカで話題を集め、日本でも今年4月に発売されました。アメリカ中西部のミシガン州では、高校生のナタリー・フッドさんが、9月から始まる新学期を前に小学校や幼稚園にこのセットを寄付しようと呼びかけ、6月の約2週間で2806ドル（約30万円）が集まりました。フッドさんは「子どもたちのだれもが自分の作品に自分自身を表現できるようにしたい」と話しています。

(令和4年1月4日(火) 埼玉新聞より)

日本では2000年9月の生産から「肌色」の呼称を「うすだいたい」に変更しました。日本では、欧米諸国のように日常的に様々な肌の色をした友人を持つことはそう多くありませんが、このクレヨンのセットから、肌色といっても「いろいろある」ことがわかります。

「いろいろある」、それが「多様性」の基本です。この「多様性」という言葉は、近年よく耳にするようになりました。

私たちが生活していく中で大切なことは、多様性を受け入れる「理解・敬意・寛容」の心です。まず相手を理解しようと努力すること、違うことや異なる点について嫌うのではなく敬意をはらうこと、そして、それらを受け入れることです。寛容さは、私たちが今、最も必要とされていることです。しかし、とても狭い考え方しかできず、多様性を受け入れないことが多いのが現実です。

「よそもの」という言葉があるように、どうも私たち日本人は、自分たちが慣れ親しんでいる環境とは全く違うバックグラウンドを持つ相手や、それまで見聞きしたことのないことに対して、抵抗感を覚え、仲間に入れられないという感覚があります。違うことを認め、理解し、受け入れるというのは簡単そうで、難しい面もあります。

私たち大人が持っている「これが当たり前」「常識」という概念もすさまじいスピードで変化する時代の中で、時には「この考え方が当たり前とっていたけど、今は違うかも」と立ち止まって自分に問い直すことも必要かもしれません。偏見は偏見とわからず、無意識に持ってしまうことが多く、その偏見を子供の価値観に押しつけてしまわないように、大人も考える時間を持ちたいものです。



# 「さすがです。滑中生！」 令和6年度書きぞめ展

## 2月行事予定



埼玉県のマスコット コバトン

<特選>

1年

紫藤 慧	三部 心風	井上みのり
清水こころ	野口 浩生	花田 聖奈
黒澤 悠	下田 依菜	芦澤 一颯
内田仁奈子	遠藤 愛実	大森 瑠南
吉田 知史	井 美月	稲葉 愛梨
高柳 優香	中川 音花	

2年

栗原 麻緒	小久保康心	小谷 紗弓
坂元 心春	高柳 美優	金井 徹平
北原 愛莉	柴崎 奏英	茂串 優空
吉田 莉菜		

3年

伊藤穂乃花	根岸 留那	能見 健太
柳 初芽	木部 來稀	瀬倉 瑛真
山下 友菜	山中 優奈	荒木 実暖
大平 心春	小林 実里	島田 葵
檀原ゆめか	岡久史樹音	池谷 心優
伊東 柚妃	上野 珠々	矢島 夏帆
石毛 心菜		

1	土	
2	日	
3	月	A時間割再開
4	火	
5	水	1年社会体験チャレンジ
6	木	あいさつ運動 期末テスト(3年) 1年社会体験チャレンジ
7	金	期末テスト(3年) 1年社会体験チャレンジ
8	土	資源回収・制服等リユース 十代からのメッセージ
9	日	
10	月	
11	火	建国記念の日
12	水	ふれあい弁当
13	木	委員会(放課後)
14	金	
15	土	漢検③
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	生徒集会(学級) ⑤がん教育 ⑥社会体験チャレンジお礼(1年) 地域学校保健委員会
21	金	定時退勤ウィーク(~2/27) 第3回学校運営協議会
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	登校指導
26	水	期末テスト(1・2年) 公立入試(学力検査)
27	木	期末テスト(1・2年) 公立入試(実技検査・面接)
28	金	

### 中学生社会体験チャレンジ事業

令和7年2月5日(水)~2月7日(金)

これまで2年生で実施していた「NAMEGAWA  
ドリームプロジェクト事業」に代わり、1年  
生で実施いたします。

望ましい勤労観、職業観や社会的なルール  
やマナー及びコミュニケーション能力を身に  
付けること、そして、地域や事業所に対する  
理解を深め、地元への愛着や誇りを持つこと  
をねらいとしています。

### ~定時退勤推奨ウィークへの御協力について~

埼玉県教育委員会及び滑川町教育委員会の方針を受け、本年度も定時退勤推奨ウィークの設定を行います。教職員が仕事と生活のバランスの実現をより一層目指し、これまで以上に元気な姿で子供たちに向き合い、効果的・効率的な教育活動が行えるようにすることがねらいです。本校では、以下の取組を行います。

保護者の皆様におかれましては、趣旨を御理解のうえ、御協力いただきますようお願いいたします。

- 2月21日(金)~2月27日(木)の期間において、教職員の定時退勤を推進します。滑川中学校の勤務終了時刻は16時45分です。
- 16時45分(勤務終了時刻)以降の学校への緊急連絡は、緊急用携帯までお願いします。  
【緊急用携帯 番号 090-7457-2274】
- 定時退勤推奨ウィークの期間以外でも、緊急連絡以外は、勤務時間内に御連絡いただきますよう、御協力をお願いいたします。滑川中学校の勤務時間は 8:15~16:45です。